

【お知らせ】

◆ エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞について

2013年総合大会（2013年3月19日～22日、岐阜市、岐阜大学）において、第12回エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞の審査を行います。本賞はエレクトロニクス分野に関する優秀な発表（一般講演、シンポジウム講演）を行った学生員に対して贈呈するものです。概要は以下の通りとなっております。

* 選定対象者：次のすべての条件を満たす方。

- (1) 講演時に電子情報通信学会の学生員であること。
- (2) 講演申込の際に筆頭著者かつ講演者として登録し、かつ実際に講演を行った者。
- (3) 過去に電子情報通信学会の学術奨励賞、及び本賞を受けたことがないこと。
- (4) 表彰時に電子情報通信学会の会員であること。

該当者は自動的に本賞の選定対象者として登録されますので、申込み手続きは不要です。

*表彰：2013年ソサイエティ大会のエレクトロニクスソサイエティのプレナリーセッションにおいて、下記3分野それぞれについて2名の方に表彰盾および賞金（30,000円）を贈呈します。

- イ. 電磁波およびマイクロ波
- ロ. 化合物半導体および光エレクトロニクス
- ハ. シリコンおよびエレクトロニクス一般

◆ 2013年フェロー候補者推薦公募について

電子情報通信学会では、本会規則第2条第5項により、「学問・技術または関連する事業に関して顕著な貢献が認められ、本会への貢献が大きい正員に対し、フェローの称号の証を贈呈」しています。エレクトロニクスソサイエティでは、皆様方からご推薦いただいた方の中からフェローピアレビュー委員会と執行委員会でフェロー候補者を選定し、学会本部のフェローノミネーション委員会に推薦します。つきましては、エレクトロニクス分野でフェローの称号にふさわしい方のご推薦をお願い致します。

【推薦手順】

フェロー推薦手順の詳細、推薦規程、書式については、電子情報通信学会の下記WEBページに掲載されています。

<http://www.ieice.org/jpn/fellow/suisen.html>

フェロー候補者の推薦は、「原則在籍10年以上（累計）の正員・名誉員と海外セクション代表者少なくとも1名による他薦」によると定められています。また、3名以上の評価者（名誉員及びフェロー会員）の評価シートのご提出も必要です。

- ・推薦書、評価シートは、**2013年1月31日**までに（当日消印有効）、
- ・推薦者、各評価者から別々に郵送にて下記までご提出ください。

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

(社) 電子情報通信学会

エレクトロニクスソサイエティ・フェローピアレビュー委員会

◆ シニア会員の申請について

シニア会員の申請を2012年10月1日から受け付けています。

申請期間：2012年10月1日～**2013年1月31日**

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

申請資格：本会会員として原則在籍累計5年以上で、本会が関連する技術分野に原則10年以上従事している正員。

申請方法：シニア会員申請ページからの自己申告です。

◆特集号論文募集 (Call for Paper)

ーマイクロ波・ミリ波システムのための最新技術小特集 (英文論文誌C) 論文募集ー

マイクロ波・ミリ波システムのための最新技術小特集編集委員会

社会生活における ICT の普及に伴い日常生活での情報通信機器の活用が不可欠となりつつある一方、より高度なサービスを安心・安全に安定して提供可能とするための技術革新が求められています。これは、スマートフォンの普及に起因する通信容量増大、スマートグリッドによるエネルギー効率の向上、セキュリティ強化やヘルスケア意識の増進、災害時の迅速な通信インフラの復旧等、多岐に渡る場面での対応において見受けられるものであり、この中において無線通信や電波を活用したシステムを構成する最新の技術やサービスは大きな役割を果たすものです。そこで、無線通信で利用されるマイクロ波帯をより有効に活用するための技術、より高い周波数帯の利用を可能とする技術、電波を活用したセンサやイメージング技術及びエネルギー応用技術などに関連したマイクロ波及びミリ波帯での最新の研究成果を俯瞰し、これらの技術の更なる発展に寄与することを目的として本小特集 (平成 25 年 10 月号) を企画しました。奮って御投稿下さるようお願い致します。

●論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 15 日(金) 必着

●問合せ先幹事

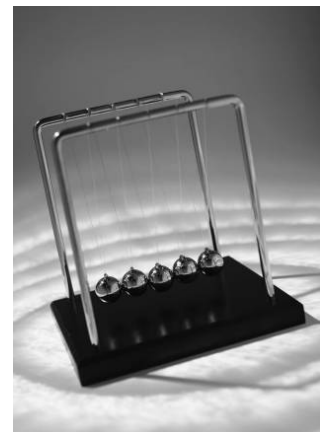
幹事 加屋野 博幸

(株) 東芝 研究開発センター 機能材料ラボラトリー

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1

Tel: 044-549-2110, Fax: 044-520-1286, E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

●詳細は学会誌 11 月号をご覧ください。



◆特集号論文募集 (Call for Paper)

－電子ディスプレイ小特集 (英文論文誌C) 論文募集－

電子ディスプレイ小特集編集委員会

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集 (平成25年11月号) を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

●論文投稿締切日 平成25年2月22日(金) 必着

●問合せ先幹事

藤田 悦昌

シャープ株式会社 研究開発本部 材料・デバイス技術研究所 第二研究室

〒277-0005 千葉県柏市柏 273-1

Tel: 04-7135-6215, Fax: 04-7135-6296, E-mail: fujita.yoshimasa@sharp.co.jp

●詳細は学会誌12月号をご覧ください。

－情報ストレージのための最新要素技術小特集 (英文論文誌C) 論文募集－

情報ストレージのための最新要素技術小特集編集委員会

HDDはその誕生以来、多くのアプリケーションやコンテンツのデジタル保存に貢献してきており、現在の情報ストレージにおいては他に置き換わることのできないデバイスとなりました。今後も、用途の拡大が予想されること、また、エネルギー省力化の観点からも、高記録密度化への期待が従来以上に高くなるものと予想されます。しかしながら更なる高密度化達成のためには、熱安定性やSN比、記録能力の両立という難題に直面しており、それを克服する技術の確立が急務となります。そこで、今後の情報ストレージに関する最新動向の把握と、研究開発の一層の促進を目的として、本特集 (2013年12月号) を企画致します。

●論文投稿締切日 平成25年3月25日(月) 必着

●問合せ先幹事

三浦 健司

岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科

〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5

E-mail: kmiura@iwate-u.ac.jp Tel, Fax: 019-621-6458

●詳細は学会誌12月号をご覧ください。

◆特集号論文募集 (Call for Paper)

—次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術特集 (和文論文誌 C) 論文募集—

次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術特集編集委員会

スマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器の普及に伴い、高速・低電力・高帯域幅ロジック／メモリシステムに加えて、高精細小型カメラモジュール、高周波無線通信システム、MEMS 技術を用いた各種センサ、薄型ディスプレイなどが急速に進化しています。次世代の電子機器では更なる利便性が求められ、今後も軽薄短小化、高速動作化、高機能化を可能とする先端実装技術が要求されてきます。

これまで集積回路の高性能化は半導体素子の微細化により達成されてきました。しかし、この高性能化によりチップの消費電力が激増しており、微細化を実現するための加工技術も限界に近づいています。従来の平面に構成された集積回路では、機能ブロック間の長い電気配線を用いてチップ駆動するために膨大な電力を必要とします。この配線負荷を軽減するため、デバイスや回路ブロックを分割して立体的に積層し、シリコン貫通配線(TSV)で接続する三次元実装技術などに近年非常に大きな期待がかかっています。また、異種デバイスを高密度に実装し、システム全体で高性能化をはかるシステムインテグレーション技術にも高い注目が集まり、異分野融合がブレークスルーを創出する鍵になると言われています。

本特集では、次世代の電子機器を牽引する高密度実装技術（三次元実装に関わらず、電子部品実装、光回路実装、環境調和型実装、プリンタブルデバイス実装なども含む）とそれらの信頼性を担う先端の設計・解析・評価技術に焦点を置き、この研究分野における研究開発を更に進展させることを目的として、研究成果を集約した特集の企画を行いました。平成25年11月号の発行を予定していますので、多くの方々の積極的な投稿をお願い致します。

●論文投稿締切日 2013年2月28日(木) 必着

●問合せ先幹事

福島 誉史
東北大学 未来科学技術共同研究センター (NICHe)
Tel: 022-795-4119, Fax: 022-795-6907,
E-Mail: fukushima@bmi.niche.tohoku.ac.jp

●詳細は学会誌1月号をご覧ください。



◆ エレソ研究会開催予定

☆2013年1月-3月開催分(申込〆切済・参加募集中)

研究会名	開催日	開催場所	テーマ	共催/併催
マイクロ波研究会 (MW)	2013年1月16日(水)- 1月18日(金)	機械振興会館	化合物半導体デバイスおよび超高周波デバイス/マイクロ波一般	ED(共催)
光ファイバ応用技術研究会 (OFT)	2013年1月24日(木)- 1月25日(金)	淡路島	一般	
電子ディスプレイ研究会(EID)	2013年1月24日(木)- 1月25日(金)	静岡大学	発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会(照明学会固体光源分科会, SID 日本支部共催)	ITE-IDY, IEE-EDD(連催)
電子通信エネルギー技術研究会 (EE)	2013年1月24日(木)- 1月25日(金)	阿蘇ファームランド	エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般	CPM(共催)
フォトニックネットワーク研究会 (PN)	2013年1月24日(木)- 1月25日(金)	大阪大学吹田キャンパス(仮)	フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般	PN, EMT, LQE, OPE, MWP, EST(共催) IEE-EMT(連催)
超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)	2013年1月24日(木)	岡山大学	超伝導センシング基盤技術及びその応用, 一般	
有機エレクトロニクス研究会 (OME)	2013年1月24日(木)	ウイックあいち	有機材料・一般	IEE-DEI(連催)
機構デバイス研究会 (EMD)	2013年1月25日(金)	ゆとりうむ日立 (日立労組戸塚支部労働会館) (戸塚)	一般	
マルチメディアストレージ研究会 (ITE-MMS)	2013年1月25日(金)	パナソニック企業年金基金 松心会館	映像情報機器, 一般	ITE-CE(共催), MR(連催)
集積回路研究会 (ICD)	2013年1月31日(木)- 2月1日(金)	早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター	集積回路とアーキテクチャの協創 ~新しいアプリケーション創造に向けたアーキテクチャ、回路技術の貢献~	IPSI-ARC(連催)
機構デバイス研究会 (EMD)	2013年2月15日(金)	住友電装	機構デバイスの信頼性、信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会、IEEE CPMT JAPAN 共催)	R(共催)
シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)	2013年2月27日(水)- 2月28日(木)	北海道大学(百年記念会館)	機能ナノデバイスおよび関連技術	ED(共催)
光エレクトロニクス研究会 (OPE)	2013年2月28日(木)- 3月1日(金)	機械振興会館	光波センシング、光波制御・検出、光計測、ニューロ、光ファイバ(ホーリーファイバ、マルチコアファイバ等含む)伝送とファイバ光増幅・接続技術、光ファイバ計測応用、一般	OPE(共催) OFT, OCS(併催)
磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)	2013年3月8日(金)	名古屋大学	光記録, 一般	ITE-MMS(連催)

☆2013年1月-2013年4月原稿〆切(発表申込受付中)

研究会名	開催日	開催場所	テーマ	共催/併催	締切日
マイクロ波研究会 (MW)	2013年3月7日(木)- 3月8日(金)	広島大学	マイクロ波一般		1月14日(月)
集積回路研究会 (ICD)	2013年3月(未定)	中央大学	シリコンアナログRF	二種研究会	(未定)

◆ エレクトロニクスソサイエティ会員数の推移

エレクトロニクスソサイエティの現状を会員の皆様にご理解頂くため、エレクトロニクスソサイエティ登録会員数の推移を掲載しております。皆様の会員増強活動へのご協力をお願い致します。

	名誉員	正員	:(国内)	:(海外*)	学生員	:(国内)	:(海外*)	合計
2009年 4月	44	6,421	(6,155)	(266)	563	(502)	(61)	7,028
7月	42	6,438	(6,156)	(282)	645	(574)	(71)	7,125
10月	42	6,471	(6,171)	(300)	805	(717)	(88)	7,318
2010年 1月	40	6,410	(6,104)	(306)	860	(757)	(103)	7,310
4月	40	6,591	(6,243)	(348)	543	(462)	(81)	7,174
7月	42	6,619	(6,240)	(379)	723	(620)	(103)	7,384
8月	42	6,644	(6,260)	(384)	765	(658)	(107)	7,451
9月	42	6,659	(6,271)	(388)	812	(699)	(113)	7,513
10月	42	6,629	(6,238)	(391)	857	(740)	(117)	7,528
11月	42	6,629	(6,224)	(405)	884	(752)	(132)	7,555
12月	42	6,601	(6,187)	(414)	901	(754)	(147)	7,544
2011年 1月	42	6,588	(6,174)	(414)	951	(801)	(150)	7,581
2月	42	6,576	(6,155)	(421)	1,021	(863)	(158)	7,639
3月	42	6,055	(5,683)	(372)	967	(803)	(164)	7,064
4月	42	6,371	(5,946)	(425)	657	(531)	(126)	7,070
5月	42	6,367	(5,934)	(433)	683	(549)	(134)	7,092
6月	45	6,380	(5,935)	(445)	708	(571)	(137)	7,133
7月	45	6,377	(5,927)	(450)	745	(605)	(140)	7,167
8月	45	6,334	(5,875)	(459)	827	(683)	(144)	7,206
9月	44	6,287	(5,822)	(465)	858	(707)	(151)	7,189
10月	42	6,261	(5,796)	(465)	867	(713)	(154)	7,170
11月	43	6,340	(5,874)	(466)	884	(726)	(158)	7,267
12月	43	6,337	(5,865)	(472)	895	(732)	(163)	7,275
2012年 1月	43	6,332	(5,857)	(475)	923	(755)	(168)	7,298
2月	43	6,329	(5,844)	(485)	974	(802)	(172)	7,346
3月	43	5,862	(5,436)	(426)	893	(720)	(173)	6,798
4月	43	6,221	(5,700)	(521)	514	(432)	(82)	6,778
5月	43	6,215	(5,687)	(528)	546	(461)	(85)	6,804
6月	44	6,217	(5,685)	(532)	574	(484)	(90)	6,835
7月	43	6,226	(5,689)	(537)	614	(521)	(93)	6,883
8月	43	6,235	(5,691)	(544)	696	(521)	(102)	6,974
9月	42	6,235	(5,687)	(548)	730	(617)	(113)	7,007
10月	42	6,232	(5,678)	(554)	746	(627)	(119)	7,020

* 海外:「外国籍を有しかつ海外に在住する」会員

◆ エレソ Newsletter 研究室紹介記事募集

研究室紹介記事を募集します。

今年度も昨年度と同様に、【短信】研究室紹介のコーナーに一般公募記事の掲載も予定しております。研究紹介の機会として奮って応募下さい。

*応募方法： タイトル、研究室名、連絡先（e-mail）を下記応募先までご連絡下さい。

応募多数の場合は選考の上、編集担当より、フォーマット書類一式をお送り致します。

*応募先： エレソ事務局 (h-sakai@ieice.org) TEL:03-3433-6691

これまでの記事例は、下記 URL エレソニュースレターのページにありますので、ご参考願います。

<http://www.ieice.org/es/jpn/newsletters/>

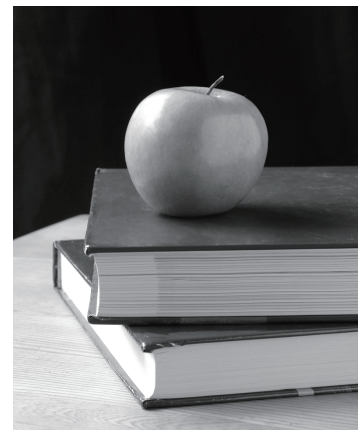
◆ Newsletter 魅力的な紙面づくりにご協力下さい

本 Newsletter は、会長、副会長からの巻頭言や論文誌編集委員長、研究専門委員会委員長からの寄稿を中心に、年 4 回発行させていただいております。昨年度 7 月号より、Newsletter をリニューアルいたしました。今後、さらに魅力的な紙面づくりを進めるため、エレクトロニクスソサイエティでは、会員の皆様から企画のご提案やご意見を募集いたします。電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ事務局宛（詳細は下記 URL）にご連絡をお願いいたします。

<http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/>

◆ エレソ News Letter は年 4 回発行します。次号は 2013 年 4 月発行予定です。

編集担当：中原（企画広報幹事）、川崎（編集出版幹事）、三田（技術渉外幹事）



[編集後記]

昨年度編集出版幹事としてエレクトロニクスソサイエティおよび学会の出版に関する企画と執筆依頼を担当してまいりました。特に、この Newsletter の編集に関しては、今年度の私の業務の一大業務として、皆様のご協力を仰ぎながら進めております。本ソサイエティや学会の今後の発展にも、出版物の内容充実や広報は重要でして、近隣諸国との學術部門の交流には欠かせないものです。今回の Newsletter の編集にも、全部ではありませんが、各担当委員の方々のご努力とアイデアが反映されております。関係各位に、心より感謝する次第です。ぜひとも皆様の周りの方々にも、ご一読をお勧めいただければ幸いです。(川崎)



平成 24 年度エレクトロニクスソサイエティ運営委員 (2012 年 11 月現在)

ソサイエティ会長 (理事)	荒木 純道	(東京工業大学)
次期ソサイエティ会長 (理事)	榎木 孝知	(NTT)
総務幹事	川西 哲也	(NICT)
総務幹事	武藤 伸一郎	(NTT)
企画会議		
ソサイエティ副会長 (企画広報財務担当)	山田 浩	(東芝)
財務幹事	米田 尚史	(三菱電機)
財務幹事	西山 伸彦	(東京工業大学)
企画広報幹事	中原 宏治	(日立)
企画広報幹事	松崎 秀昭	(NTT)
アドホック幹事 (ハンドブック)	小山 二三夫	(東京工業大学)
アドホック幹事 (Web ページ企画委員)	高橋 浩	(NTT)
アドホック幹事 (Web ページ企画編集委員)	大橋 英征	(三菱電機)
編集出版会議		
ソサイエティ副会長 (編集出版担当)	八坂 洋	(東北大学)
庶務・財務幹事	中西 衛	(NTT)
庶務・財務幹事	塩見 英久	(大阪大学)
編集出版幹事	川崎 繁男	(JAXA)
編集出版幹事	西川 健二郎	(鹿児島大学)
編集出版連絡委員	前澤 正明	(産業技術総合研究所)
和文論文誌編集委員長	津田 裕之	(慶應義塾大学)
和文論文誌編集幹事	中津原 克己	(神奈川工科大学)
英文論文誌編集委員長	羽生 貴弘	(東北大学)
英文論文誌編集幹事	石井 啓之	(NTT)
ELEX 編集委員長	井筒 雅之	(東京工業大学)
ELEX 編集幹事	藤井 孝治	(NTT)
研究技術会議		
ソサイエティ副会長 (研究技術担当)	浦野 正美	(NTT)
庶務・財務幹事	瀧口 浩一	(立命館大学)
庶務・財務幹事	檜枝 護重	(三菱電機)
技術渉外幹事	矢加部 利幸	(電気通信大学)
技術渉外幹事	三田 吉郎	(東京大学)
大会運営委員長	奥村 治彦	(東芝)
大会運営幹事	山崎 恒樹	(日本大学)
研究専門委員会 (第一種)		
機構デバイス	長谷川 誠	(千歳科技大学)
磁気記録・情報ストレージ	杉田 龍二	(茨城大学)
超伝導エレクトロニクス	日高 睦夫	(ISTEC)
電子ディスプレイ	服部 励治	(九州大学)
電子デバイス	加地 徹	(豊田中央研究所)
電子部品・材料	竹村 泰司	(横浜国立大学)
電磁界理論	西本 昌彦	(熊本大学)
シリコン材料・デバイス	奈良 安雄	(富士通セミコンダクター)
マイクロ波	大平 孝	(豊橋技術科学大学)
集積回路	吉本 雅彦	(神戸大学)
有機エレクトロニクス	臼井 博明	(東京農工大学)
光エレクトロニクス	清水 健男	(古河電工)
レーザ・量子エレクトロニクス	津田 裕之	(慶應義塾大学)
エレクトロニクスシミュレーション	柴田 随道	(NTT)
マイクロ波・ミリ波フォトニクス	塚本 勝俊	(大阪工業大学)
時限研究専門委員会		
集積光デバイスと応用技術	裏 升吾	(京都工芸繊維大学)
超高速光エレクトロニクス	神成 文彦	(慶應義塾大学)
量子情報技術時限	枝松 圭一	(東北大学)
テラヘルツ応用システム	久々津 直哉	(NTT)
次世代ナノ技術に関する	小森 和弘	(産業技術総合研究所)
ポリマー光回路	杉原 興浩	(東北大学)
シリコン・フォトニクス	西山 伸彦	(東京工業大学)
国際会議国内委員会		
APMC 国内委員会	橋本 修	(青山学院大学)
MWP 国内委員会	松島 裕一	(早稲田大学)
日中合同マイクロ波国際会議国内委員会	古神 義則	(宇都宮大学)
PIERS 国内委員会	立居場 光生	(有明工業高等専門学校)
URSI 日本国内委員会	小林 一哉	(中央大学)